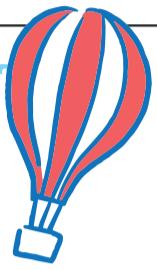




# かわじやさ

## 中学生海外体験学習

笑顔でつなぐ 互いの文化と心  
Connecting Our Cultures and Hearts With Smiles



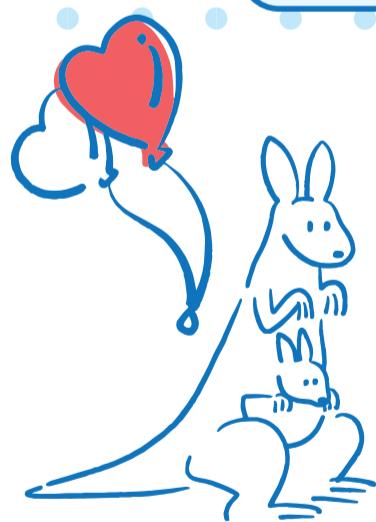
7月24日(木)から8月3日(日)までの11日間、区立中学校5校の代表生徒(第2学年)18名が本区の姉妹都市であるオーストラリア・サザランズ市を訪れました。中学生海外体験学習は今年で33回目を数え、今回の派遣でこれまでに参加した生徒数は1018人にのぼります。

### 現地の学校への体験入学

派遣生徒はホストスチューデントが通う学校に3日間体験入学しました。授業の進め方や学校設備、昼食の取り方から、使用する文房具やICT機器まで、大小さまざまな日本とオーストラリアの違いを体感し、毎日が驚きと発見の連続だったようです。また、体験入学先の生徒たちからはフレンドリーに話しかけられるなど、充実した3日間を過ごしました。



今年の派遣団は、「笑顔でつなぐ 互いの文化と心」～Connecting Our Cultures and Hearts With Smiles～をスローガンに掲げ、派遣のおよそ2ヶ月前から取り組んだオーストラリアの文化や歴史・生活習慣などに関する学習に加え、英語によるコミュニケーション力の向上などに励みました。その結果、8日間のホームステイや現地の学校での体験入学を通じて、オーストラリアや現地の生徒と積極的に交流し、親睦を深めることができました。以下、現地体験をいくつか紹介します。



### 小学校での交流活動



現地の小学校を訪れ、交流活動を行いました。小学生の代表者による歓迎のダンスが披露され、派遣生徒は、日本の唱歌「ふるさと」とオーストラリアを代表する民謡「Waltzing Matilda」を合唱し、温かな雰囲気の中、交流しました。

また、派遣生徒は日本の伝統的な遊びである折り紙や羽根つきなどを紹介し、遊び方を英語や身振り手振りで説明しました。交流後のお昼休憩では、一緒にバスケットボールを楽しむなど、親睦が深まりました。



### 先住民についての学習活動

派遣生徒は、今年のスローガン「笑顔でつなぐ 互いの文化と心」～Connecting Our Cultures and Hearts With Smiles～をもとに、ホームステイや体験入学、小学校での交流活動など、どの場面でも笑顔が溢れ、お互いの文化と心を学び合う11日間を過ごしました。また、2学期以降、派遣生徒は自校での海外体験学習の成果発表などを通じて、この学習で学んだことを全校生徒へ広める活動に取り組んでいます。

今後、派遣生徒がこの学習で学んだ知識や経験などを生かして、各学校で中心となつて活動し、将来国際社会で活躍するリーダーとなることを期待しています。





## 教育委員コラムリレー

さかもと よりこ  
**坂本 順子 委員**

### 1期4年間を振り返っていかがですか?

着任したときはまだコロナ禍の影響が残っていましたが、徐々に学校行事が再開され、卒業式や入学式などに出席できるようになりました。卒業式で丁寧に挨拶する子どもたちの姿を見て、教員時代の教え子たちを思い出し、感動したのを覚えています。

150周年を迎えた学校への訪問も印象深い出来事でした。中央区は歴史の長い学校が多く、地域に支えられ、育まれてきた様子が伝わってきました。一方で、晴海地区には新しい学校が開校しました。新しい学校は、英語や中国語をはじめ多様な言語が飛び交い、室内プールや蔵書豊かな図書館など充実した施設が整っています。新旧の学校がそれぞれの特色を生かしながら共存している様子が、心に残っています。

### 中央区の教育現場はどのような印象ですか?

歴史を残しながら新しさもある印象です。例えば、ICTを活用した学習環境や地域事情に即した屋上校庭など、教育に必要な支援が行き届いています。特認校のスクールバス運行や幼稚園の預かり保育といった取り組みにも積極的で、健康学園も大にけるなど、こうした施策は中央区ならではだと思います。伝統と新しさを両立させ、保護者や子どもたちのニーズに応じた教育が進められていることが誇らしいです。

### 2期目に取り組んでいきたいことは何ですか?

子どもたちや保護者の方、先生方、地域の皆さんとの信頼関係を土台に、より良い教育を実現したいと考えています。

教育行政は、教育委員会だけで完結するものではありません。たくさんの方たちが関わって、教育の中心である学校という場をつくっていくものだと思います。皆さんと協力しながら、未来に向けて、子どもたちの成長をサポートしていきたいです。

## 教育で大切なのは信頼関係

令和3年12月から教育委員を務めている坂本順子委員。コロナ禍の影響が残る中、教育委員の活動をスタートし、このたび令和7年12月に2期目を迎えました。これまでの活動や中央区の教育への思いを伺いました。

### 子どもたちや保護者・先生方にメッセージをお願いします。

学校は小さな社会で、いろいろな人がいて成り立っています。子どもたちには、多角的なものの見方や、他の人の意見を聞いて主体的に考える力を大切にしてほしいですね。また、何かを始めるのに遅すぎるということはありません。チャレンジしたいがあれば、いつからでも、ぜひ好奇心を持って取り組んでもらいたいと願っています。

保護者の方々から、「先生に感謝の言葉を伝える日をつくる」という話を聞きました。あたたかい気持ちで学校現場を支えていただいていることに、心から感謝しています。引き続き一緒に子どもたちを育てていきたいです。

先生方には、大切なお子さんを預かっているという意識を常に持ちながら、専門性を活かして個々の成長をサポートしてほしいと思います。



### 【プロフィール】

新宿区生まれ。弁護士。東京学芸大学卒業後、荒川区立第一日暮里小学校、目黒区立鷹番小学校に勤務し、生活指導主任、学年主任などを経験。平成23年9月司法試験合格。平成24年12月第一東京弁護士会登録。現在は六田・坂本法律事務所に所属し、企業の社外役員や家裁の調停委員などを務め、令和3年12月1日から中央区教育委員に就任。

# Welcome to Chuo City

**サザランド市の生徒を受け入れました**

9月25日(木)から10月4日(土)までの10日間、中央区の姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市の生徒12名が本区を訪れ、ホームステイや区立中学校への体験入学などを行いました。この訪問は今回で30回目となり、これまでに今回の参加者を含め延べ429人の生徒が中央区を訪れていました。

区立中学校への体験入学では、サザランド市の生徒がホストファミリーの生徒(ホストスチューデント)と一緒に登校し、授業や部活動に参加しました。各中学校では、通常の授業に加え琴や折り紙、浴衣の着付けといった彼らにとってはあまり馴染みのない特別な授業も受けました。サザランド市の生徒は、この体験を通じて日本文化や日本の学校生活へ興味・関心を深め、楽しむことができたようです。

また、国際教育パイロット校である常盤小学校を訪れ、4年生の児童との交流活動を行いました。児童がけん玉やコマ、だるま落としなどのブースに分かれて、サザランド市の生徒にやり方や遊びのコツを教える“先生”となり、一緒に日本の伝統的な遊びをすることで、交流を深めました。サザランド市の生徒はけん玉の“先生”的お手本をじっくり眺め、実際に技が成功した時には、児童と笑顔で喜びを分かち合っていました。

ホストファミリーとのお別れ式では、別れを惜しんで思わず涙ぐむ生徒の姿や笑顔で再会を約束をする姿など、終始和やかな雰囲気に包まれていました。サザランド市の生徒と、この訪問に関わった中央区の子どもたちが、今回の交流をきっかけに、外国人の人々と互いに文化や習慣を理解しあうことの大切さに気付き、これからも国際感覚を磨いていってもらいたいと思います。

晴海中学校での特別授業

## 中央区PTA連合会 成人教育委員会が 開催されました

10月17日(金)、中央区PTA連合会が柔道指導者・元陸上自衛官の五ノ井里奈さんを講師に迎えて「声をあげる勇気」をテーマとした講演会を開催し、多くのPTA会員の方々が参加されました。

参加者からは「目的を失わないで行動することがどれだけ難しく、大切なことか教えてもらった」、「自分のことだけでなく、次世代の人の為にも声をあげて行動し続けたところに心を動かされた」などの意見があり、大変有意義な講演会となりました。



<b>教育委員会の主な活動状況</b> (令和7年11月11日～令和8年1月10日)	● 第11回定例会および研修会 11月12日(水)	● 第12回定例会および研修会 12月10日(水)
● 月島第三小学校周年行事(90周年) 晴海幼稚園周年行事(65周年)	● 晴海幼稚園研究発表会 11月15日(土) 月島第三小学校	● 明石小学校研究発表会 12月17日(水) 明石小学校
● 中学校連合音楽会 11月28日(金) 銀座プロッサム	● 仕事始め式 1月5日(月)	

